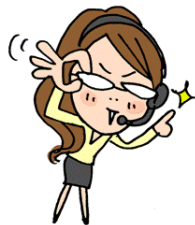


## こよみ



2010年3月31日

コールセンターからの小さなよみもの



Vol.15

出口戦略

## 景気回復への道のりは？ 各国の「出口戦略」に注目です。



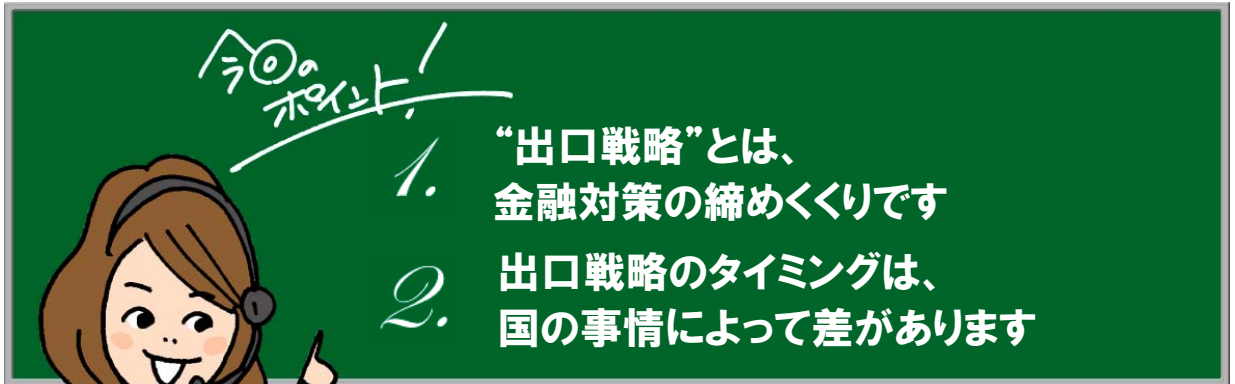
最近、「出口戦略」という言葉を耳にすることが多いと思いますが、いったい「出口戦略」とは何なのでしょう。

この「出口戦略」は経済成長や相場展開においても、2010年におけるキーワードです。そこで皆さまには次の2点を押えていただきたいと思います。

1. “出口戦略”とは、  
金融対策の締めくくりです
2. 出口戦略のタイミングは、  
国の事情によって差があります



コールセンターから的小さなよみもの



## 1. “出口戦略”とは、 金融対策の締めくりです

このたびの金融危機をきっかけとした景気悪化を受けて、各国政府は公共事業などに莫大なお金を投入、中央銀行はお金の流れを良くするための金融対策を広く実施しました。その手法は、大きく分けて3つあります。

### ①政策金利の引下げ

多くの国では、その国の銀行などが資金を調達するための金利が政策金利とされています。その資金調達の金利が引下げられることで、銀行などは低い金利でお金を借りることができます。そうすると個人の住宅ローン金利や企業の資金の借入れ金利も下がり、お金が借りやすくなる、つまり世の中の「お金の流れが良くなる」ことが期待されます。

### ②預金準備率の引下げ

民間の銀行が日銀のような中央銀行に無利子で預けなければならないお金の比率のことを預金準備率といい、銀行はそれ以外のお金を使って貸し出しを行なうことができます。預金準備率が下がることで、銀行は個人や企業などに貸し出せるお金の量を増やすことができる、つまり世の中に「出回るお金の量が増える」ことが期待されます。



コールセンターからの小さなよみもの

### ③量的緩和

しかし、政策金利がほぼゼロに近づくなど、①、②の従来型の方法に限界が出てきた一部の先進国では、「非伝統的手段」として量的緩和が行なわれました。量的緩和とは、中央銀行が民間の銀行が保有する国債などを買い取って、世の中に「出回るお金の量をさらに増やす」ことです。

これらの方法で個人や企業などがお金を使いやすくなり、充分にお金を行き渡らせたりすることで、モノを買う(消費)などの経済活動が高まることが期待されるのです。

しかし、低金利でお金が借りやすい状態が長く続いたり、世の中にジャブジャブとお金の出回る量を増やし過ぎると、必要以上に物価が上がったり、それが新たなバブルの芽になるなどの副作用が出てくるのです。中央銀行はその国の物価と経済を安定成長させることが役割であるために、行き過ぎたインフレやバブルは避けなければなりません。そこである程度、景気回復への道筋が見えてきたら通常の状態に戻していきたい、それが緊急時から平時への「出口」に向けた戦略というわけです。

## 2. 出口戦略のタイミングは、国の事情によって差があります

出口戦略に向けた動きとして、昨秋、オーストラリアとノルウェーが先陣を切って政策金利の引上げ(利上げ)を行ないました。また最近では、アジアの中からもマレーシアやインドが利上げを行なっています。例えばオーストラリアでは、昨年10月から3ヵ月連続、さらに今年3月と、合計4回で1.0%の利上げにより、政策金利は4.0%になりました。オーストラリアやノルウェーは資源が豊富な国で、中国をはじめとした新興国での資源需要の高まりが、いち早く景気に改善の兆しを与えたのでしょう。

この「政策金利の引上げ」は、他国との相対的な金利の魅力が高まると考えられることから、その国の通貨が買われる(上がる)要因にもなります。

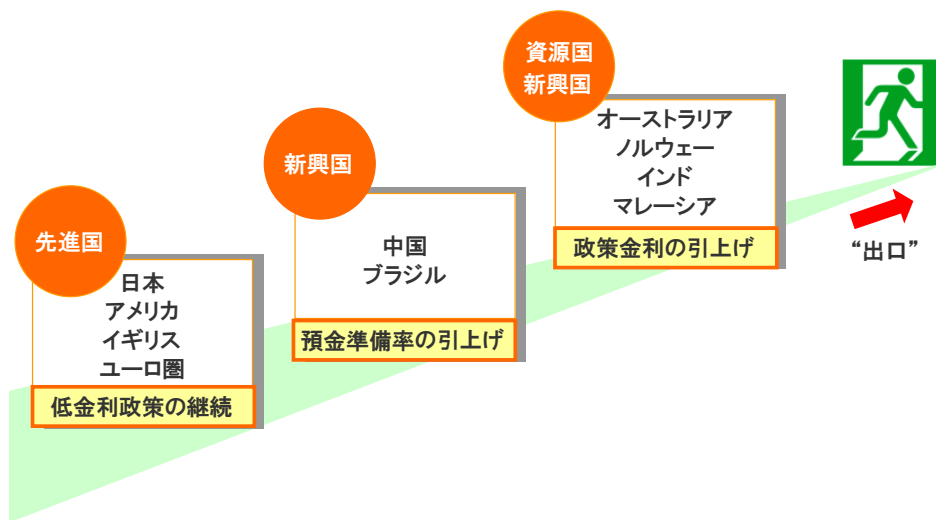


コールセンターから的小さなよみもの

次いでブラジルや中国では、利上げの一手手前である「預金準備率の引上げ」が行なわれました。もう少し景気の回復が確かなものになるまで政策金利は低く維持させつつ、一部に見られる物価の上昇を抑えるための調節といえるでしょう。

こうした出口戦略は、中国などの世界経済に対する影響力が強い国の場合には特に、「成長の妨げになるのではないか」などと、その実施タイミングに世界中が注目するのです。

一方、先進国は出口戦略にはまだ遠い印象があります。一部の国では、量的緩和の規模を小さくしたりしていますが、日本では出口どころか、物価が下がる「デフレ」対策として昨年12月、今年3月と追加の金融政策をとっている状況です。最も出口のドアに遠いのは日本といえるのかもしれませんが。



いずれにせよ、「出口戦略」は2010年を通じて注目すべき言葉になるでしょう。

ご不明な点、気になる点などがありましたら、ぜひ日興AMコールセンターまでお問合せください。

nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

